

# "いざというとき"は地域の助け合い! 皆さん、知っていますか? 自主防災組織のこと

10月に五所川原、金木、市浦の3地域で「自主防災組織について」をテーマに防災に関する住民懇談会を行ったところ、参加した町内会の皆さんから右のような意見が聞かれました。

- 自主防災組織ってどんな組織?
- 自主防災組織の役割・活動って?
- 自主防災組織の作り方って?

自主防災組織について、  
あらためて学んでみよう!

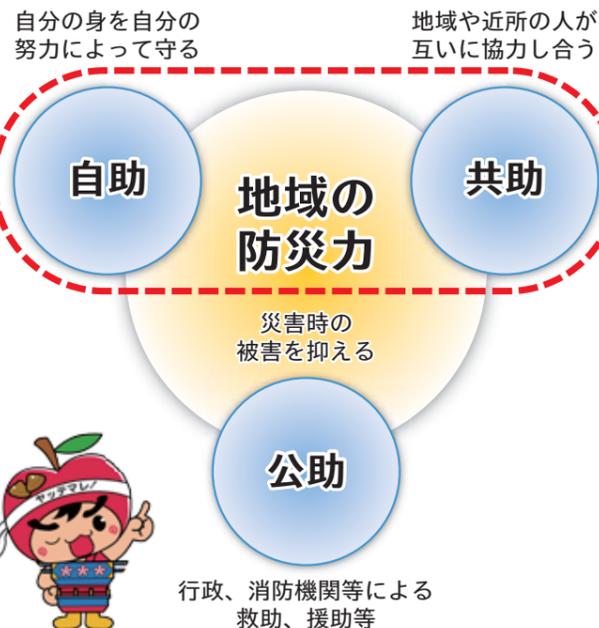


## 自主防災組織ってどんな組織?

平成7年の阪神・淡路大震災では、瓦礫の下から救出された人のうち約8割が家族や近所の住民などによって救出されたと言われています。

自主防災組織とは「自分たちのまちは自分たちで守る」という「共助」の精神に基づき、地域住民が連携し、自主的に防災活動を行うことを目的として結成される防災組織のことです。

大きな災害が発生した場合、行政や消防などの防災機関がすぐに対応できないおそれがあります。そんなときに頼りになるのが「地域ぐるみの協力体制」です。日頃から地域住民が関わりを深め、防災に対する意識を高めることが、自身や家族を守ることに繋がります。



近年、自然災害による大規模な被害が全国各地で発生しています。県内でも今年8月に下北地方を中心に大雨による被害が発生しており、当市でもいつこのような災害が発生してもおかしくありません。

## 防災ひとくちメモ 市内にはどれくらいの自主防災組織があるの?

現在、五所川原地域に36、金木地域に3、市浦地域に6の自主防災組織があります。自主防災組織が組織されている各自治体内で、どのくらいの世帯数を活動範囲としているかを示した「自主防災組織活動力パー率」は、当市が39.3%で、全国平均の84.3%、青森県平均の55.4%にくらべると低い状況です。

## 自主防災組織の役割・活動って?

自主防災組織は、平常時には防災知識の普及や啓発、地域内の危険な場所の把握、防災訓練などを行います。災害時には、地域住民の安否確認や初期消火活動、被災者の救出や避難誘導などの役割を担います。

### 平常時の活動

- ・ 地域の1人暮らしの方（特に高齢者や障がいのある方）などの把握
- ・ 地域を巡回し、危険な場所の把握
- ・ 避難場所等の把握
- ・ 防災学習会や防災訓練の実施



### 災害時の活動

- ・ 1人暮らしの高齢者等の避難誘導
- ・ 地域住民の安否確認
- ・ 情報の収集・伝達
- ・ 消火器による消火活動
- ・ 負傷者の救出や救護



## 自主防災組織の活動を紹介!

令和2年10月11日、五所川原第三中学校を避難所とした、災害対策実動訓練が行われました。当日はみどり町の自主防災組織の皆さんも訓練に参加し、感染症対策を踏まえた避難所運営、物資搬送、避難者誘導、避難広報、段ボールベッドなどの避難器具取扱い訓練を行いました。

段ボールベッドを組み立てる  
自主防災組織の皆さん (右写真)



## 自主防災組織の作り方って?

自主防災組織は、地域での助け合いが基本となることから、一般的に町内会、青年団、婦人会など地域の組織を生かして結成されることが多く、当市では町内会を単位しているところが多い状況です。一方で高齢化などを背景にひとつの町内会での結成が難しい場合は、複数の町内会がまとまって結成することも可能です。

自主防災組織の結成についての相談を受け付けています。必要に応じて皆さんの元に出向き、サポートしますので、気軽に相談してね。



問い合わせ先  
防災管理課 内線2144